

令和4年度に向けて



会派チーム湖南 ● 松原 栄樹 議員

施政方針から

問 政策提案枠予算について。

答 将来像「ずっとここに暮らしたい！みんなで創ろう」きらめき湖南」の実現に向け、令和2年に認定を受けた、「SDGs未来都市」や、「セーフティコナン」「官民パートナーシップ」の三つの推進事業に取り組みます。具体的には、こなんSDGsカレッジ、ウツクシマツ保全、防災行政無線親局更新工事、地域防災リーダー育成、などの事業です。

甲賀病院について。

問 湖南市民の公立甲賀病院利用率は約15%であり、湖南市としてあり方について検討する時期にあると考え、甲賀市と相談、検討にかかります。

農業施策について。

答 農地の持つ多面的機能を維持、発揮するため、農業者のみならず、地域に居住する市民の力によって農地はもとより集落の持続的な維持発展を図ります。中山間地域では、自然と風土を生かした農業振興、農地保全を進めます。

林業施策について。

問 里山保全活動の推進や無秩序な伐採や開発の抑制、環境に配慮した森林整備を進めます。

教育方針について

問 図書館のあり方とICTについて。

答 貸出・返却の利用状況管理、書名・著者名など資料のデータ管理や種々の統計管理を行っています。館内でWiFiが利用できスマホでの資料検索も可能です。施設内のインターネットリジエンス化と、アウトリーチ型の出前サービス等新たなサービス展開を計画しています。

SDGs未来都市推進事業に期待を寄せて！



湖南市公明党議員団 ● 細川 ゆかり 議員

新型コロナウイルス感染症対策について

問 給付金制度の周知と支援体制について

答 企業、事業所からの相談にワンストップで対応するため職員を配置して、問い合わせに対応。市のHPにて「新型コロナウイルス感染症にかかる生活支援及び経済支援一覧」として掲載しています。

湖南市施政方針から

問 地方創生SDGs未来都市推進事業「こなんSDGsカレッジ」

の取り組みの成果と今後の展開について

答 次世代を担う若者を中心に、地域や関係人口など多様なキーマンとともに主体的かつ能動的に活動できるまちづくりの「たまり場」として「こなんSDGsカレッジ」を創設。市内外的一般募集による中高生・大学生、また同志社大学政策学部の学

生、市の新規採用職員がカレッジ生として参加、セミナー・講演・体験や取材を通じて感じたことなどを発表しました。今後、活動内容をブックレットにまとめ、市内外の中学校や高校等へ配布し、参加を呼びかけ、運営者となる若者を育成することで自走できる仕組みを構築していきます。

湖南市教育方針から

問 「本物の出会い」コロナ禍での工夫は。

答 中学校体験入学は、小学校に向き、教員や生徒会からの説明と部活動紹介ビデオを視聴。中学3年生の生徒が園児に手作りのおもちゃを届けたり、年長園児向けに小学生が学校生活紹介動画を渡したりするなど工夫して実施しました。今後も地域・学校・家庭が協働し、体験活動の充実を図ります。